

この広報紙は、留萌市の全世帯に無料で毎月配布しています。常に明るい市民生活をねらい編集していますが、ご意見ご希望をお聞かせ下さい。

# 広報るもい

発行/北海道留萌市役所 編集/市民課市民係 印刷/金子印刷所

主な目次

- 準備するもい号運行 1
- 国民年金の手続を早く 2
- 活発な市民組織づくり 2
- 市民組織めぐり 2
- 明るい生活—除雪— 3
- 市政トピック 3
- 多い火災での死傷者 4
- わたくしたちの市役所 4
- お知らせ 4
- 市勢回顧表 4



一月十五日から、築別—深川間に、ディーゼル準急列車が運転されました。

## 築別—留萌—札幌を一本で結ぶ 準急るもい号運行 驛頭で市民の大歓迎受ける

「るもい」号と名づけられたこの準急列車は、深川で乗りかえることなく、留萌から札幌へ二時間余りをつつ走るとあつて、市民のかねてからの念願であつたものです。

このため初運行を祝い、留萌市では、駅前には祝賀アーチを建てるとともに、十五日午前十一時八分、留萌駅三番線ホームにすべり込んだ準急列車の運転手、車掌の三人に、和服姿に着飾つた市女子職員阿部礼子さん、小山永子さん、斎藤淑子さんの三人から花束が贈られました。

この日、準急るもい号は超満員の乗客でゴタゴタし、阿部さん等が、全部のお客さんを乗せたほどでした。こうした歓迎を受けた準急るもい号は、あわただしい中にもやがて発車。ホームを埋める歓迎の市民が見守る中で、寺井市役が線路上にはられた五色のテープに、ハサミを入れ、いよいよ出発、金沢市商工会議所専務理事の音頭で、構内もわれるような万才の声に送られて、すべりようにホームをはなれて行きました。

準急るもい号は、毎日一往復、築別から札幌まで乗りかえずに、深川で準急オホーツク号に連結、約四時間走り、留萌からは約二時間、停車も築別、羽田、苫前、小平、留萌、沼田、深川の七駅。留萌と道央の距離が非常に縮まり、

## 手続きはお済みですか

### 3月31日まで国民年金係へ



提出国民年金の加入手続きは三月三十一日までです。この制度に加入する人は日本国内に住んでいる日本人に限りますが、当然加入の人には、ことし四月一日で満二十才以上満五十才までの人が該当します。

ただし、厚生年金や恩給共済組合など既存の年金制度によつて保障されている人とその奥さん、昼間の学生さんは除かれます。

つまり、農林漁業者、自営業者、その他勤め人の夫婦以外に男性も女性も、また夫も妻も当然加入者として手続をしなければならぬわけですね。

希望加入者とは、希望により加入する人のことで、勤め人の奥さん、ことし四月一日で満五十才をこえない人、あ

産業、経済、文化に大きな役割をはたすものと期待されています。

なお、準急列車の運行実現は、市と商工会議所が中心となつて、鉄道利用費三千三百万円を市民の協力によつて消化したことが、大きくあつています。

(写真は寺井市助役の切つた五色のテープを越えて発車するジーゼル準急るもい号と、歓迎の花束を贈る女子職員)

行政書士の資格試験

道では行政書士の資格試験を、三月十日札幌、函館旭川、釧路で行う。

受験資格は、高校卒業生または地方公共団体の公務員として三年以上行政事務を担当したもので、および下記の条件に該当し、あらかじめ知事から受験資格の認定を受けた者。

①行政書士の補助者として通算三年以上従事したもの②公団、各種協同組合

丹羽文雄の『鎮花祭』に思う

私達の生活から暴力追放

丹羽文雄の『鎮花祭』に思う

丹羽文雄の『鎮花祭』という小説にひびく残虐な男がでて来る。妻が自分の意に従わぬと後手に縛りあげてムチで私刑を加えるのだが問題は、この男が良家の息子で、教育もあつて、小さいながらも一つの会社の経営者の地位にあるという点にある。

つまり作者は、人間の底にひそむ原始的な残忍性に光をあて、人間存在の根本問題として読者の前に提起しているわけだが、今日「暴力」が社会の大きな問題となつていくとき、この小説の持つ意味はきわめて大きい。

— あたりくじ —

■ 特等 (ステレオ装置)	各組共通	915119
■ 1等 (洋風掛けふとん2枚)	各組共通	792999 329879
■ 2等 (トランジスター掛け時計)	各組共通	620925 144665 000273
■ 3等 (シーツ、マクラーカー2枚組)	各組共通	下5けた 80524
■ 4等 (合成接着ノリ)	各組共通	下3けた 393 916
■ 5等 (お年玉切手シート)	各組共通	下2けた 77 94 49

住いを暖かくする工夫

現在の住宅が、すき間の多い住宅だとわかつていても、すくに住宅を新築するわけにはいきません。そこで、しろうとがすき間の工夫で住いを暖かくする方法を考えてみましょう。まず床は、床板をすき間なく張りかえて、とくにたみ寄せや敷居の下すき間をなくします。

その上に新聞紙を敷き重ねてしき、この上にたたみ敷きます。

窓の改修には、窓枠と柱との間のすき間や敷居と窓枠との間のすき間に、フェルトなどを張つた細長い木をうつつことです。

天井を保温的にする方法でいちばん簡単なのは、サオ線の間隙に建築紙やわらかいテックスを張ることです。

当つてませんか

もう一度確かめましょう

お年玉つき年賀はがきの当選番号が、次のように発表されました。

毎年当選しているながら、気がつかずにいる方が多いといわれます。

もう一度よく確かめて、早めに留萌郵便局で賞品をお引とり下さい。